

May
2014

The Record

vol.654

2013年世界の音楽産業
「新入社員合同研修会・懇親会」開催
(新連載) ヒットの裏側



<http://www.riaj.or.jp/lmark/>



Contents

Monthly News Digest.....	1
特集	
2013 年世界の音楽産業	3
特報	
千代田区民講座 第 7 回音のサロン開催	7
著作権保護・促進センター (CPPC) 2013 年度削除要請実績報告	8
第 55 回 RIAJ セミナー 「新入社員合同研修会・懇親会」開催.....	9
第 4 回香港アジア・ポップミュージック フェスティバル (HKAMF) 開催.....	11
(新連載) ヒットの裏側	12
Monthly Production Report	13
GOLD DISC	14

3/24

BEAJとクールジャパン機構が テレビ番組の海外展開で連携

3月24日、東京都港区の住友会館において、当協会も参加する一般社団法人放送コンテンツ海外展開促進機構 (BEAJ) と株式会社海外需要開拓支援機構 (クールジャパン機構) は、日本のテレビ番組の海外輸出拡大をめざして提携すると発表した。

放送局、広告代理店、音楽関連団体などから理事が選出され、放送枠確保や現地語化などを支援し放送コンテンツの海外販売を促進する目的で設立された BEAJ と、日本の伝統や食、アニメなどを海外に売り込む企業を支援する官民出資のクールジャパン機構。2つの組織は、アジアを中心とした市場開拓やキャラクター商品の販売促進、また、著作権処理やファイナンスなど専門能力を有する人材の交流など、5つの分野で業務提携を行う。

BEAJ の岡理事長は「番組を通じて日本へのあこがれ、関心を海外の人に抱いてもらいたい。オールジャパン体制で第一歩を踏み出したい」と抱負を述べ、クールジャパン機構の飯島会長は「BEAJ が作ったきっかけをクールジャパン機構が育て上げたい。官のお金を、海外ビジネスの立ち上げリスクの軽減に役立てて欲しい」と呼びかけた。

3/26

ベトナム著作権局局长が来協

3月26日、ベトナム著作権局ブーゴック・ホアン局長、ディン・ホン・シン上級職員が来協し、当協会法務部 (現：著作権・契約部) 飛世課長補佐

から、「レコード製作者の著作権隣接権の集中管理」および「デジタル環境における著作権の保護とエンフォースメント」について説明を行った。

今回の訪問は、将来のベトナムにおけるコンテンツ保護の促進を支援することを目的として文化庁が招へいたものである。当協会の他、日本音楽著作権協会 (JASRAC)、日本芸能実演家団体協議会・実演家著作権センター (CPRA) など複数の民間団体との間で情報提供と意見交換がなされた。

当協会からは、放送二次使用料等のレコード製作者の権利に関する集中管理事業と、インターネット上の違法ファイルに対する削除要請を中心とした違法対策について説明し、著作権局長からはベトナムでの違法対策について協力する旨の意見が述べられた。

3/28

理事会・総会開催

3月28日、当協会は第471回通常理事会および臨時総会を開催し、平成26年度事業計画書案および収支予算書が承認された (事業計画の詳細は、先月号にて掲載済み)。

4/15

ALB Japan IP Conference 開催

4月15日、東京都港区のトムソン・ロイター社において、同社主催による「ALB Japan IP Conference (ALB 日本知的財産会議)」が開催され、当協会畑理事長がパネラーとして出席した。本会議は、各分野の専門家による日本特有の事例研究や、知財マネジメ



ントにおける最善慣行を紹介することを目的とした国際フォーラムであり、今回が日本初開催となった。当協会畑理事は「複数の裁判管轄を跨いでデジタル上の著作権侵害と闘う」をテーマとしたセッションに参加し、事例研究の発表と、同セッションのパネラーである、21世紀FOXアジア社ジョー・ウェルチ政府関係担当副社長、国際レコード産業連盟(IFPI) アン・キュイ・

ティアン アジア地域部長とディスカッションを行った。



イギリスの音楽見本市「ザ・グレート・エスケープ」にてジャパン・ショーケース・ライブ「JAPAN RISING」開催

一般財団法人音楽産業・文化振興財団(PROMIC)は、2014年5月8日から10日にかけてイギリスで開催される音楽見本市「ザ・グレート・エスケープ」において、3組の日本人アーティストによるショーケースライブ「JAPAN RISING」を開催する。

同見本市は、ロンドン近郊の都市ブライトンで行われ、2006年の立ち上げより全世界から高い評価を受けている音楽見本市で、世界各国から選ばれた400アーティストがブライトン市内の35のクラブでライブを行うもの。

13年ぶりのイギリスでのショーとなるパッファロー・ドーター、昨年の東京国際ミュージック・マーケット(TIMM)で海外の音楽関係者から高い評価を得たMayu Wakisaka、3月28日に開催された香港アジア・ポップミュージックフェスティバルにも出演したTarO&JirOの3組が出演。5月10日午後開催されるショーケースライブにてパフォーマンスを披露した後、同日の夜に3組それぞれが別々のクラブでライブを行う予定である。

当協会は、JAPAN RISINGの趣旨に賛同し、協賛を行っている。

【JAPAN RISING show case at THE GREAT ESCAPE 開催概要】

主催： 一般財団法人音楽産業・文化振興財団(PROMIC)
 協賛・後援： 一般社団法人日本レコード協会
 日時： 2014年5月10日(土) 13:00～
 会場： Queens Hotel (イギリス・ブライトン)
 URL: <http://greatescapefestival.com/>

◆◆当協会役員人事◆◆

■退任(3月31日付)

【理事】

石坂 敬一

株式会社ワーナーミュージック・ジャパン
 代表取締役会長兼CEO

■新任(4月22日付)

【理事】

小林 和之

株式会社ワーナーミュージック・ジャパン
 代表取締役会長兼CEO

RIAJ2014年4月度理事会主要議案

■ 審議事項

1. 2014年度罰則化啓発キャンペーン活動費用を予備費より支出する件
2. 新会員社入会について(エイベックス・ピクチャーズ)

■ 報告事項

1. 名義使用申請に関する件
 - (1) CDV-JAPAN「ショップコンテスト2014」後援依頼
 - (2) 日本民謡協会「第27回日本民謡フェスティバル2014」協賛依頼
2. 法制委員会関係報告
 - (1) NHKとの二次使用料協議状況について
 - (2) 海外番販実証実験協議会報告
 - (3) 「著作権法の一部を改正する法律(案)」について
3. 著作権保護・促進センター(CPPC)関係報告
 - (1) CPPC2013年度活動報告
4. デジタル(旧情報・技術)委員会関係報告
 - (1) 配信チャートへの取り組み状況について
5. マーケティング委員会関係報告
 - (1) レンタル問題協議会進捗状況報告
6. 広報委員会関係報告
 - (1) STOP 違法ダウンロード広報委員会/啓発ビデオについて
 - (2) 2013年度職場訪問対応実績報告
7. 海外市場拡大委員会関係報告
 - (1) 知財事務局「音楽産業の国際展開に関するタスクフォース」報告
8. 【資料配布】
 - (1) 日本音楽家ユニオン 交渉状況報告

◆◆会員社のお知らせ◆◆

■ 新入会(5月1日付)

社名：エイベックス・ピクチャーズ株式会社
 (賛助会員)

代表：代表取締役社長 竹内 成和

住所：東京都港区南青山3丁目1番30号

電話番号：03-5413-8550

2013年世界の音楽産業

IFPI（国際レコード産業連盟）は、年次レポートの「Recording Industry In Numbers 2014」を発行した。2013年の世界の音楽産業をダイジェストで紹介する。

世界音楽売上実績

2013年の全世界音楽売上（パッケージ売上、有料音楽配信売上、演奏権（使用料）収入、シンクロ収入の合計）は、150億ドルとなり、対前年比で3.9%減となった。日本の売上が急激に落ち込んだのが主な要因である。巨大市場である日本は、デジタルへの移行過程にあり特有の課題を抱えている。

世界第2位の音楽市場である日本は、全世界の売上の約20%を占める。日本の売上の80%はパッケージ売上であり、有料音楽配信の大半はフィーチャーフォン向け音楽配信売上による。しかし2013年、日本はパッケージ売上、有料音楽配信売上いずれも大幅に落ち込み、世界市場の成長にブレーキをかける結果となった。

日本以外では、世界の多くの市場がサブスクリプションサービスの伸長に牽引され、有料音楽配信売上が増加した。また、パッケージ売上の落ち込みが鈍化したこともあり、世界市場は全体的に安定し、日本を除けばわずか0.1%の微減にとどまった。

世界最大の音楽市場であるアメリカは全世界の約30%の売上を占め、2013年は前年比で0.8%増加した。

また、ドイツ、イギリス、フランス、イタリア、スウェーデン、オランダといったヨーロッパの主要6大マーケットの全

● 世界音楽売上（2012年-2013年）

金額：百万 US ドル（卸価格ベース）
※ 2012年、2013年ともに2013年レートで換算（1ドル＝97.61円）

	2012年	2013年	前年比
パッケージ売上	8,753	7,730	▲ 11.7%
有料音楽配信売上	5,630	5,872	4.3%
演奏権収入	929	1,106	19.0%
シンクロ収入	334	322	▲ 3.4%
合計	15,645	15,029	▲ 3.9%

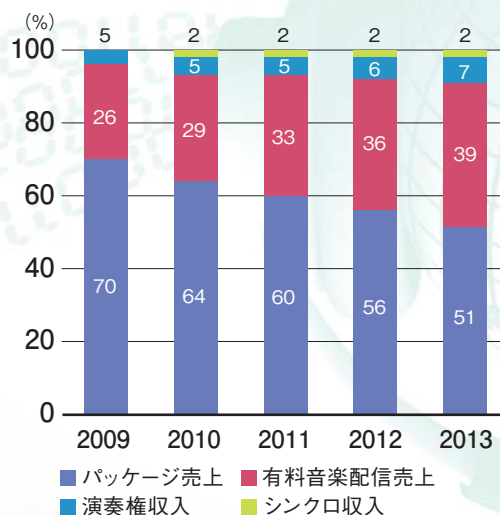
出典：IFPI「Recording Industry In Numbers 2014」

体売上が、過去最高の前年比0.6%増を果たし、過去12年間で初めて増加が見られた。

パッケージ、デジタルダウンロード、サブスクリプションサービス、広告型ストリーミング、インターネットラジオ、演奏権（使用料）、シンクロなど、音楽産業の収益源は多様化している。

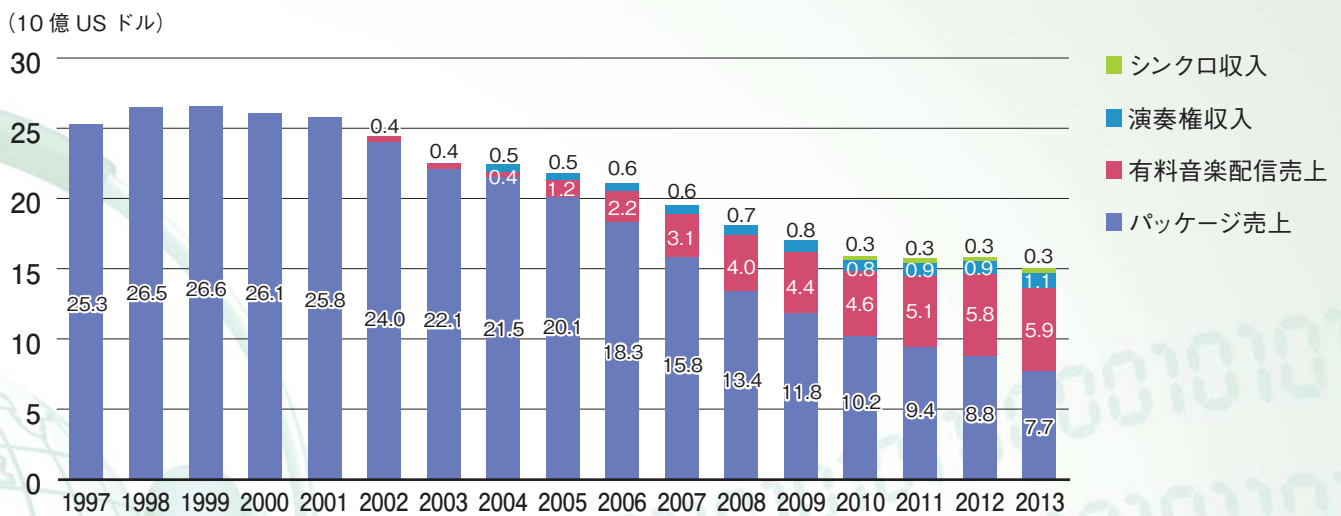
全世界の有料音楽配信売上は4.3%増の59億ドルに達し、音楽総売上の39%を占めるまでに成長した（2012年の36%から増加）。主要なデジタルサービスのグローバル展開、サブスクリプションサービスの急伸、広告収入型サービスのマネタイズ（収益化）に加え、堅調な動きを見せたアルバムダウンロードなどで成長に拍車がかかった。今や有料音楽配信売上は、世界上位20のうちの8カ国（オーストラリア、カナダ、デンマーク、インド、ノルウェー、韓国、スウェーデン、アメリカ）で売上シェアの大半を占めている。

● 世界音楽売上 — 収入シェアの推移（金額）



出典：IFPI「Recording Industry In Numbers 2014」

●世界音楽売上推移（金額）



※卸価格ベース

出典：IFPI「Recording Industry In Numbers 2014」

音楽配信市場成長の主な原動力となったサブスクリプションサービスは、2013年に51.3%増の売上を記録し、音楽配信売上の19%を占めている。Spotify、Deezerといった世界的ブランドのサービス提供地域拡大や、Muve Music、WiMP、KKBOX、Beats Musicなどの地域に根差したサービスの成長などは、有料サブスクリプション会員数が推定2,800万人にまで及ぶことを意味する。これらが追い風となり、2013年の売上は10億ドルに達した。スウェーデン、ノルウェー、韓国で音楽主要モデルとなったサブスクリプションは、2013年にはオランダやデンマークなどの市場でも急成長を見せた。

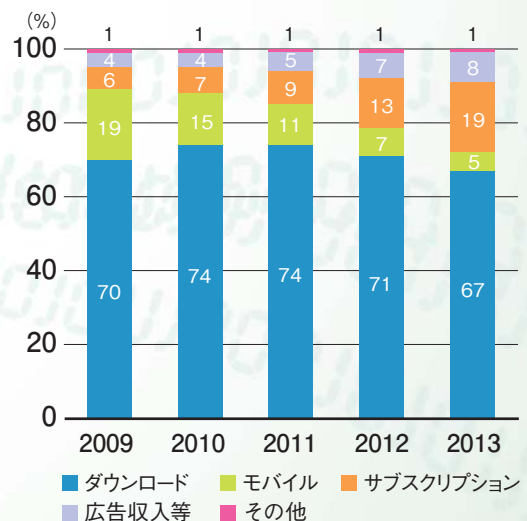
しかし、ダウンロード売上が音楽配信売上の最大の収益源である状況は変わらず、音楽配信売上全体の67%と大きな割合を占めている。シングルトラック売上は一部では成熟市場となっているが、アルバム売上は全世界で依然として増加傾向にある。特に成長著しいのは新興国市場であるが、既に音楽配信市場が確立しているイギリスなどでも変わらず成長を見せている。広告型売上は、堅調な需要とYouTubeにおける収益化が後押しとなり前年比17.6%増と急成長を見せ、音楽配信売上の8%を占めるまでになった。YouTubeは、2013年には新たに13地域でライセンスを取得している。

パッケージ売上は全世界音楽売上の51%を占めるものの、前年比11.7%減となった。しかしながら、イギリス、ドイツ、アメリカなどの主な市場ではパッケージ売上の減少は落ち着きを見せている。フランスではデラックスセットやDaft Punkの「Random Access Memories」など国内有力バンドのリリー

スが、パッケージ売上を押し上げ前年比0.8%増となった。アナログレコードは依然としてニッチな市場であり、全世界の音楽売上の1.5%を占めるに過ぎないものの、アメリカとイギリスでは急激な成長が見られる。

パッケージ売上と有料音楽配信売上を除くと、演奏権（使用料）収入が19.0%増となり音楽総売上の7%を占め、初の10億ドル台に達した。また、シンクロ収入は前年比3.4%の減少となった。

●有料音楽配信売上 — フォーマット別割合



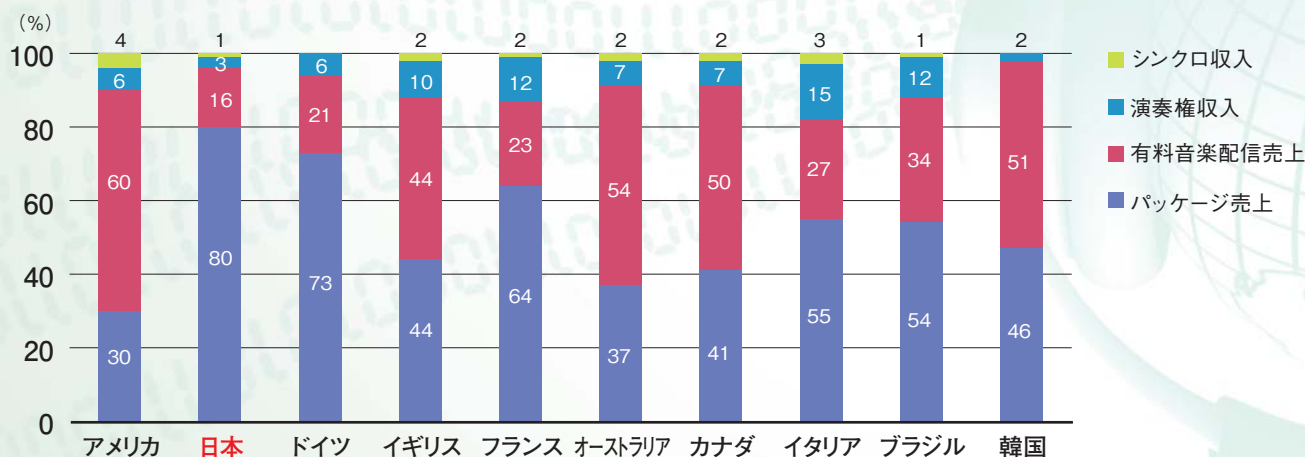
出典：IFPI「Recording Industry In Numbers 2014」

● 2013年 世界音楽売上 TOP20

	国名	卸価格ベース			収入シェア			
		USドル (百万)	現地通貨 (百万)	対前年比	パッケージ売上	有料音楽 配信売上	演奏権 収入	シンクロ 収入
1	アメリカ	4,473.5	4,473.5	0.8%	30%	60%	6%	4%
2	日本	3,012.0	293,998.2	▲16.7%	80%	16%	3%	1%
3	ドイツ	1,365.1	1,023.9	1.1%	73%	21%	6%	1%
4	イギリス	1,303.5	834.2	2.2%	44%	44%	10%	2%
5	フランス	956.2	717.1	1.3%	64%	23%	12%	2%
6	オーストラリア	430.8	448.1	▲8.4%	37%	54%	7%	2%
7	カナダ	424.1	436.9	▲2.5%	41%	50%	7%	2%
8	イタリア	238.8	179.1	8.3%	56%	27%	15%	3%
9	ブラジル	227.9	492.3	▲1.7%	54%	34%	12%	1%
10	韓国	211.3	232,249.4	9.7%	46%	51%	2%	0%
11	オランダ	205.6	211,877.7	0.1%	49%	35%	15%	1%
12	スウェーデン	194.2	1,266.2	5.7%	21%	70%	8%	1%
13	スペイン	150.7	113.0	▲12.4%	48%	30%	22%	1%
14	メキシコ	135.4	1,727.2	▲4.4%	50%	47%	2%	1%
15	ノルウェー	120.0	705.5	2.4%	21%	67%	11%	1%
16	オーストリア	119.7	89.8	▲1.5%	65%	22%	13%	1%
17	スイス	115.6	107.5	▲10.9%	56%	37%	8%	0%
18	ベルギー	114.1	85.6	▲9.6%	54%	27%	19%	1%
19	インド	113.3	6,637.0	▲15.9%	31%	60%	7%	2%
20	デンマーク	95.0	534.0	4.7%	30%	55%	15%	0%
	世界合計	15,029.5	-	▲3.9%	51%	39%	7%	2%

出典：IFPI [Recording Industry In Numbers 2014]

● 2013年 世界音楽売上 TOP10 - 収入シェア別割合



出典：IFPI [Recording Industry In Numbers 2014]

アジア市場

2013年、アジア全体の音楽売上は対前年比14.6%減となった。項目別では、パッケージ売上が15.8%減、有料音楽配信売上は13.5%減となった。

このアジアの結果には、日本が大きく影響した。アジア全体の82%にも及ぶ市場規模を持つ日本にとって、2013年は非常に厳しい年であった。

日本を除くアジアの有料音楽配信売上は、3億2,750万ドルから3億4,390万ドルへと微増した。韓国（32.0%増）のほか、香港（12.0%増）、マレーシア（13.2%増）、台湾（33.2%増）、タイ（1.0%増）など多くの小規模市場が売上を伸ばしたが、インドと中国は減少した。

演奏権（使用料）収入は、日本を含むアジア全体で4.6%増となった。

世界第2位の音楽市場である**日本**の売上は、前年比16.7%減となった。2012年に増加を見せたパッケージ売しも2013年には16.0%減に転じた。有名アーティストによるベスト盤等のリリースの減少などが影響したことが、パッケージ売上減少の要因と考えられる。しかしながら依然として日本は、群を抜いた世界最大のパッケージ市場であり、全体売上の80%をパッケージ売上が占めている。

また、全体売上の16%を占める有料音楽配信売上は、ユーザーのスマートフォンへの移行が進行し、フィーチャーフォン向けダウンロード市場が縮小した影響を受け、前年を下回る結果となった。日本のデジタル市場は変化の兆しが見えているものの、ストリーミングと音楽サブスクリプションのマーケットは現在のところ小さく、黎明期にある。サブスクリプションサービスの売上は前年比203.9%増と大幅に伸びたが、配信市場全体の売上シェアではまだ7%に過ぎない。日本でも「dヒッツ」、「ソニー・ミュージックアンリミテッド」、「KKBOX」、インターネットラジオサービス「レコチョクBest」をはじめとするサービスが展開しているが、爆発的な成長を促す段階には至っていない。

年内に「Spotify」の日本上陸が予想されることから、2014年は変化が期待される。日本では三大携帯キャリア全社がiPhoneを販売し、iPhoneシェアが圧倒的に大きいため、ダウンロード市場はこれまでの小規模な顧客ベースを脱して成長しつつある。

音楽に影響を及ぼし、さらに全世界へと広がる可能性のある日本の新しいトレンドは、「LINE」などに代表されるメッセージングアプリである。「LINE」は、Katy Perryなど知名度の高い

アーティストを呼び込んだ。アーティストはアプリ用のスタンプを作成・配布し、利用者はそれらを用いて簡易なメッセージのやり取りを行う。「LINE」は全世界で3億人、日本だけで4,700万人のユーザーを集めており、同社は音楽コンテンツに力を入れている。

日本と同様のトレンドは**韓国**でも見られる。韓国のスーパースター PSYは、1億人超のユーザーを持つアプリ「カカオトーク」用のスタンプを作成した。

アジア第2位の市場である韓国は売上を9.7%伸ばした。2012年は大手ソーシャルネットワーキングプラットフォーム「Cyworld」が倒産し、売上が前年を下回った韓国市場だが、そこから若干回復した。

韓国は世界有数のサブスクリプション市場であり、サブスクリプションサービスが配信売上の85%、音楽全体売上の43%を占める。さらにサブスクリプション売上は対前年比50.6%増であり、この継続的な売上増加が2013年の回復の大きな要因となった。なお、パッケージ売上は対前年比7.2%減の落ち込みを見せた。K-PopのCD売上の鈍化が前年比減の主な要因である。

インドと中国は、アジアの音楽市場で重要性を増している。日本を除くと、これら2カ国でアジアのマーケットのほぼ3分の1を占める。2013年はインドが対前年比15.9%減、中国が対前年比12.4%減となっているが、どちらの国も潜在力を高く評価されている。その背景には、モバイルネットワークの成長と成功、新規音楽サービスの登場、レコードレーベルとのライセンス契約の増加がある。有料音楽配信は既に主要な収入源であり、音楽売上全体に対し、中国では79%、インドでは60%のシェアを占めている。

台湾では、サブスクリプションサービス「KKBOX」の継続的な成長が、有料音楽配信売上を対前年比33.2%増、音楽売上全体を対前年比2.0%増に押し上げた。背景には、スマートフォンでのサブスクリプションサービス利用の増加があり、2013年、台湾における同サービスの浸透率は50%を超えた。

このほか、モバイル製品の急伸に牽引された**インドネシア**における有料音楽配信売上の増加（対前年比112.4%増）も特筆すべき事項である。

特報 Special Report

千代田区民講座 第7回音のサロン開催 女子ジャズ～新しいジャズの聴き方・楽しみ方～



3月19日、東京都千代田区の日比谷図書文化館スタジオプラスにおいて、第7回音のサロンが開催された。「音のサロン」は、千代田区立日比谷図書文化館、一般社団法人日本オーディオ協会（JAS）および当協会が共催する「良質の音楽を良質の環境で体験する場の提供」を目的としたイベントである。

第7回を迎えた今回は『女子ジャズ～新しいジャズの聴き方・楽しみ方～』をテーマに、音楽ライターの島田奈央子さんを講師に招き、日比谷図書文化館の岩淵博副館長とのトーク形式で展開した。

マイルスのどの時代が好き？なんて聞かれても

“女子ジャズ”ブームの火付け役となった島田氏。冒頭、これまでの自身の著書について、“女子ジャズ”とは銘打ってはいるものの、もちろん男子・女子にこだわらず、これからジャズに親しもうとする人、これまでとは違った新しい聴き方をしたい人向けに書いたものであると触れた。

「ジャズが好き、マイルス・デイヴィスが好き、とジャズ好きな人にひとこと言うと『じゃあマイルスのどの時代が好き？』なんて深い話になってしまい、とても好きだなんて言えなくなってしまふ…」という発言は、ジャズ＝敷居が高い、と思いがちなジャズ初心者への共感と笑いを呼んだ。島田氏の提案する“女子ジャズ”とは、うんちくや旧来のジャンルの枠を取り払い、自分の好きな曲を、普段の生活のさまざまな場面で楽しむというカジュアルなスタイルである。「どんな時にジャズを聴くか？」という話題からスタートし、「朝、起きた時にコーヒーを飲みながら」「夜、お酒でも飲みながら」「ポカポカ陽気の春」等のさまざまなシチュエー

ションにあわせて選曲された、“サムシング・ジャジー（ジャズっぽい音楽）”な楽曲が次々に奏でられた。

「休日のひととき」というシチュエーションでは、「クラリネットが特に好き」という岩淵氏が、北村英治氏の「Smile」をセレクト。休日の高揚感をぐっと高めてくれそうな、華やかなクラリネットの音色が響き渡った。次に島田氏が「何かをしながらかく、じっくりと聞きたい特別な一曲」と選曲したのが、Bill Evansの「B Minor Waltz」。曲が始まった瞬間に、それまでの雰囲気が一変し、島田氏が「最後の音まで心に突き刺さるような」と表現したとおり、美しいピアノの音色が部屋全体を包み込んだ。

ジャズという音楽の可能性

信州を拠点に活動するピアニスト・伊佐津さゆり氏の「しゃぼん玉」を鑑賞後、島田氏は「特に東日本大震災後、音楽シーンにおいて、作品に日本独自のテイストを打ち出す傾向が出てきていると感じる。日本の郷土音楽がジャズと融合することで、より魅力的な作品となって世界中に発信されていくのではないかと」と、コメント。さまざまなジャンルを取り込むジャズの包容力と可能性への期待と、ジャズ愛が感じられた。

普段の生活に寄り添うような楽曲ラインアップに、寛いだ様子で耳を傾ける聴衆は、よりジャズを身近に感じる機会が得られたようだった。

セットリスト（選曲者／アーティスト／曲名／収録アルバム）

【朝、コーヒーを飲みながら】

- M1 島田 / Earl Klugh / Ocean Blue / The Spice Of Love
- M2 島田 / Sergio Mendes & Brasil '66 / Constant Rain / Equinox
- M3 岩淵 / Dianne Reeves / Softly As In A Morning Sunrise / I Remember
- M4 島田 / Manuel Rocheman / Aquelas coisas todas / Café & Alegria

【夕方、明日もまた頑張ろうと思いつつ】

- M5 島田 / Pat Metheny Group / Dream Of The Return / Letter from Home

【ゆったりと疲れを癒す夜】

- M6 島田 / Modern Folk Quartet / Moonlight Serenade / Moonlight Serenade
- M7 島田 / Laila Biali / Calling All Angels / From Sea To Sky
- M8 島田 / Marcia Lopes / Moon River / Bonita

【休日のひととき】

- M9 岩淵 / 北村英治 / Smile / 北村英治と仲間たち (2)
- M10 島田 / Bill Evans / B Minor Waltz / You Must Believe in Spring
- M11 島田 / Andre Manoukian / Tea for Two / So In Love

【信州ジャズ】

- M12 島田 / 伊佐津さゆり / しゃぼん玉 / Field

【ハワイアン×ジャズ】

- M13 島田 / Ginai / Puamana / All Blues / ちょっとリッチな私のハワイ時間

【春に聞きたい】

- M14 岩淵 / Janet Seidel / April In Portugal / Moon Of Manakoora
- M15 島田 / Michel Petrucciani / Looking Up / Music

使用機器（メーカー）型番

CD/SACD プレーヤー	Accuphase	DP-720
アナログプレーヤー	DENON	DP-1300MKII
カートリッジ	DENON	DL-103R
プリメインアンプ	YAMAHA	A-S3000
スピーカー	FOSTEX	GX250MG
クリーン電源	Accuphase	PS-1220
電源ボックス	KRIPTON	PB-HR1000
	KRIPTON	PC-HR1000
ラック	YAMAHA	GT ラック

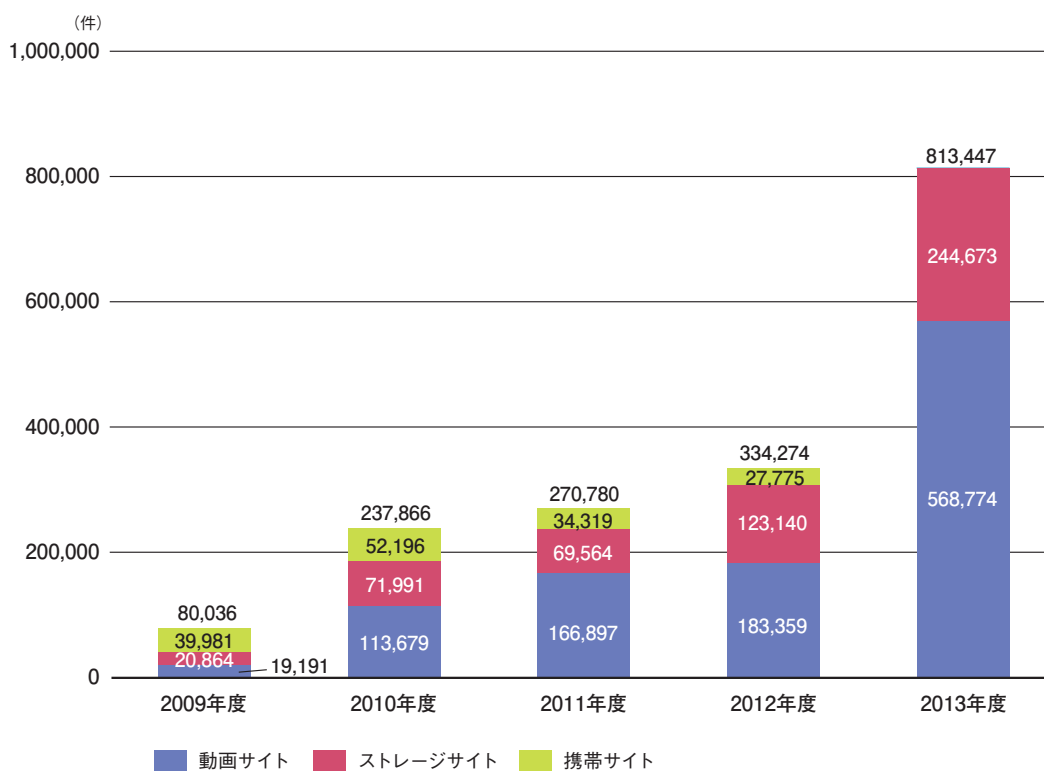
著作権保護・促進センター (CPPC) 2013 年度削除要請実績報告



2013年4月1日、当協会はインターネット上の違法音楽配信対策の大幅な強化、ならびに適法コンテンツの利用促進を目的として、「著作権保護・促進センター (CPPC = Copyright Protection and Promotion Center)」を新たに設置した。CPPCは専任スタッフの拡充により、違法な音楽アップロードの探索および削除要請など違法音楽配信対策の一層の強化に努め、このたび昨年度1年間の削除要請実績を取りまとめた。

2013年度にCPPCが行った削除要請件数は81万3,447件で前年比266%と大きく増加した。内訳は動画サイトが全体の70%にあたる56万8,774件、残りの30%がストレージサイト*で24万4,673件であった。

当協会による削除要請件数の推移



こうした取り組みの結果、スマートフォンアプリからのリンク保存先となっていた、一部のストレージサイトの違法音楽ファイルを徹底的に削除させたことにより、同アプリからの当該ストレージサイトの利用が激減するという効果が出てきている。

現在、CPPCが日々検索を行い、削除要請を実施しているインターネットサービス事業者は、世界20カ国、約120サイトである。このうち削除要請の98%以上を海外にサーバーを置いている事業者、いわゆる海外サイト事業者に対して実施しており、日本国内のサイト事業者に対する削除要請は残りわずかに過ぎない状況である。

当協会は今後も、違法ダウンロードの温床となる違法アップロード行為を撲滅するため、国内外問わずインターネット上に蔓延する違法音楽配信対策を積極的に展開していく。

*ストレージサイトを利用した違法配信：ファイルをサーバーに保存するストレージサービスを提供しているサイトに、権利者に無断で音楽や映像をアップロードし、その保存先 (URL 等) を掲示板やブログ等で公開するなどの行為。最近ではスマートフォンのアプリから上記保存先に誘導しているケースなど多くある。

(参考) 著作権保護・促進センター設立に関するプレスリリース (2013年3月18日)
(URL) <http://www.riaj.or.jp/release/2013/pr130318.html>

第55回 RIAJ セミナー「新入社員合同研修会・懇親会」開催

4月4日、東京都港区の共同通信会館会議室において、当協会会員社新入社員を対象とする RIAJ セミナーが開催された。57名が参加した第一部の研修会では、冒頭、当協会畑理事より「ぜひ今日の研修会・懇親会を、レコード業界の横の繋がりを深めるいい機会にして欲しい」という挨拶が送られた。引き続き、広報部丹野課長補佐による「レコード業界について」、著作権・契約部飛世課長補佐による「レコードに関する著作権の基礎知識」をテーマとした講義が行われた。海外のマーケット動向や、2012年10月に施行された「私的違法ダウンロード罰則化」に係る改正著作権法の影響、協会の違法対策業務など、質疑応答では活発な質問が多数寄せられた。

研修会終了後の懇親会では、当協会斉藤会長より激励の言葉とともに乾杯の挨拶がなされた。その後、各社ごとの自己紹介が行われ、個性豊かなスピーチやパフォーマンスに場が沸いた。最後に日本クラウン（株）幸俊吾業務本部副本部長兼総務部長より中締め挨拶が行われた後も、会場に満ちた熱気はなかなか冷めなかった。

なお、他3社の新入社員を対象とした研修会・アンケートを5月に追加実施予定しており、6月号でレポートする。



日本コロムビア株式会社



ビクターエンタテインメント株式会社



キングレコード株式会社



株式会社テイチクエンタテインメント



ユニバーサル ミュージック合同会社



日本クラウン株式会社



株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ



株式会社ポニーキャニオン



株式会社バップ



エイベックス・グループホールディングス株式会社



日本レコード協会

合同研修会を終えた新入社員に対し、アンケートを行った。回答の一部を紹介する。

レコード業界（会社）への志望動機

- 音楽から生活に元気、勇気など多くのものをもらってきたので、今度は自分が誰かにそうしたものを与えたかったから。
- 昭和歌謡が子供の頃から好きで、しだいに戦前・戦後のレコード文化全般に興味を持つようになった。現在まで100年以上続く日本のレコード文化の素晴らしさやノウハウを継承し、今後の新たなレコード文化・音楽文化の創造にビジネスの面から関わりたいと考えこの業界を志望した。
- 多くの人に「音楽産業はもう終わった」と言われることが非常に歯がゆかったということが一番の理由。私自身多くの場面で音楽の力を受けて育ってきたので、その魅力を伝える側になり、見返してやりたいという思いが強かったのだと思う。
- 音楽や映像を通じて多くの人々を楽しませたいという思いが強かったため。その中で、日本の文化であるアイドルやアニメなどの「クールジャパン」といったものを、海外の人々に伝えていきたいと思っている。そこで自分の制作したものが、多くの人に伝わり、共感してもらいたいと思い志望した。
- A&Rになりたいと思ったから。なぜなら、知人のダンサーやボーカリストを夢見て頑張る姿、心持ちを実際に見聞きして、その夢のバックアップをするような立ち位置に自分の身を置きたかったから。また右肩下がりといわれる音楽業界の現状を打破したいと思ったから。

研修会感想

1. レコード業界について

- ユーザーの音楽への接し方や楽しみ方を今一度理解し、レコード業界全体で「ヒット」を作る必要があると強く感じた。
- やはり、必ずしも見通しが明るい業界でもないし、変化も激しく克服すべき課題の多い業界だと再認識した。また、海外との比較で、特殊な日本市場が今後グローバル化でどのように変化するかも私たちが対応しなくてはいけない課題だと思った。
- 日本は配信はまだ普及しきっていない、ということであったので、そこをどうにかできれば売上が伸びるだろうと思った。物質として所有したい、という気持ちはよくわかるので、デジタルでも所有できている実感を持てるようなことを考えつきたい。
- 厳しい。しかし「ホンモノ」は売れる。市場の説明がわかりやすかった。

2. レコードに関する著作権の基礎知識

- レコードに関する著作権は、音楽を守るためにあるということを感じた。特に、音楽が多くの人にタダであるという感覚で受け止められており、音楽が「盗まれている」という現状があるという話には強く共感するとともに、危機感を覚えた。レコード会社の一員として、レコードを守っていく意識を強く持ちたいと思った。
- 違法ダウンロードと売上の関係は疑似相関であり、本当のヒット作が求められているということが分かった。
- 法律についての知識はほとんどないが、わかりやすい説明だった。私的違法ダウンロード罰則化についても、ユーザーと敵対したいわけではなく、音楽に関わる全ての人が正しく楽しみ、利益を受けられるようにしようというスタンスを理解できてよかった。
- 著作権の根底として存在する「著作権者」を守るために必要であり、これらの法改正と、市場成長・売上は切り分けて考えるべきであるということを改めて感じた。

その他

- 洋楽も市場をもっと拡大するために、自分たちの会社が頑張っていニシアチブを取っていかなければならないな、と改めて思った。
- 消費者から、音楽を作り守る側になる身として知っておくべき知識がたくさんあり、日本のレコード業界をもっとよくしていくと、関係者全体が努力していると感じた。
- 他の参加者からの質問により、新しく気づいたことや考えさせられたことが多くあり、同業他社の社員の方々と合同で行う意義を感じた。
- 普段、自社にいただけではお会いできない他社の新入社員の方々と交流することもでき、研修も受けることができる、という、とても素晴らしい機会を提供していただきありがとうございました。

第4回香港アジア・ポップミュージックフェスティバル (HKAMF) 開催

3月28日、香港コンベンション&エキシビションセンター (HKCEC) において「第4回香港アジア・ポップミュージックフェスティバル (HKAMF)」が開催された。HKAMFは国際レコード産業連盟 (IFPI) 香港グループが主催、香港政府の助成を受け、「Music in One Asia (音楽でアジアを一つに)」をテーマに東アジア7カ国・地域 (日本・中国・韓国・台湾・香港・マレーシア・シンガポール) が参加し実施されるもので、当協会も趣旨に賛同し開催に協力している。HKAMFは「エンターテインメント・エキスポ 香港」の核となるイベントの一つとして2011年に初めて開催され今回が4回目となるが、毎年各国・地域を代表する新人アーティスト・有名アーティストが参加しており、香港を代表する人気音楽イベントへと成長した。



◆ HKAMF の概要

HKAMFでは、アジア全域で活躍する新人アーティストを発掘することを目的とし、各国・地域の新人アーティストが参加するコンテストが行われる。また、各国・地域を代表する有名アーティストをゲストに迎え、パフォーマンスを披露する構成となっている。

日本からは、2013年12月にデビューした兄弟アコースティック・ギターデュオのTarO&JirO ((株) テイチクエンタテインメント) が新人コンテストに出場、有名アーティストとして主催者の招待を受け、酒井法子が参加した。また、m-floのメンバー・DJとしても活躍する☆Taku Takahashiが、新人コンテストの日本代表審査員を務めた。

◆ スケジュール

3月27日夕方、主に香港のマスコミ向けにHKCECの別室にて記者会見が行われた。記者会見には新人アーティスト・有名アーティスト・審査員等が一堂に会し、主催者の挨拶、参加者へのインタビューと全体の写真撮影などが行われた。新人アーティスト同士でお土産を交換しあうなど、終始和やかな雰囲気であった。

翌28日夜、HKAMF2014はHKCECで約8,000人の観客を集め華やかに開催され、3時間に及びショーは終了した。日本からのゲストアーティストの酒井法子は、新曲の「涙ひとつ」と、「碧いうさぎ」を一部北京語で披露し、現地のファンから多くの声援が上がった。

新人コンテストでは、7カ国・地域の代表が第一ラウンドで自身のオリジナル曲を披露し、日本代表のTarO&JirOはデビュー曲の「Snake Bite~Silent Siren」をトップバッターで披露。香港で初のパフォーマンスながら、観客から大きな歓声と拍手を受けていた。TarO&JirOは、昨年当協会がインドネシア・ジャカルタで実施した「J-Music LAB」にも出演しており、今年はPROMICが主催するイギリス・ブライトン(5月)、シンガポール(7月)でのイベントにも出演が決定するなど、海外でのパフォーマンスが相次いでいる。

第一次審査で、ヴォーカルパフォーマンス賞にマレーシアのBell、ステージパフォーマンス賞に韓国のN-SONICが選ばれた。その後、第二ラウンドに進んだ3組がカバー曲を披露し、審査の結果、Bruno Marsの「When I Was Your Man」を、ピアノを弾きながら披露した香港のJ.Arieが第4回スーパーノーバ賞に選ばれた。

なお、同フェスティバルの様子は、スペースシャワーTVにて放映の予定である。(敬称略)

◆ 7カ国・地域の出演アーティスト

<コンテスト・アーティスト>

日本: TarO&JirO	シンガポール: Ming Bridges (喬毓明)
中国: Quan Zhendong (權振東)	台湾: HANS TSOU (鄒宗瀚)
韓国: N-SONIC	香港: J. Arie (雷琛瑜)
マレーシア: Bell (宇田)	

<受賞結果>

スーパーノーバ賞	香港 / J.Arie
ヴォーカルパフォーマンス賞	マレーシア / Bell
ステージパフォーマンス賞	韓国 / N-SONIC
WeChat 人気投票	香港 / J.Arie

<ゲストアーティスト>

日本: 酒井法子	シンガポール: Tanya Chua (蔡健雅)
中国: Theway Zhang, Tasiken (張璋, 塔斯肯)	台湾: Kenji Wu (吳克群)
韓国: V.I from BIGBANG	香港: Miriam Yeung (楊千嬅)
マレーシア: Eric Moo (巫啟賢)	

◆ 放送スケジュール

スペースシャワーTV

「第4回香港アジア・ポップミュージックフェスティバル」

放送日程: 5月17日(土)20:30~21:00

※リピート放送: 5/30(金)20:00~, 6月予定



多くの現地メディアが取材に詰めかけた



日本からのゲストアーティストの酒井法子



新人コンテスト出場のTarO&JirO



スーパーノーバ賞を受賞した香港のJ.Arie

多くの人を魅了したヒット曲は、どのように世に送り出されたのか。音楽人の苦闘が織り込まれた『ヒットの裏側』をリレー形式でも解いていく。



美空ひばり「おまえに惚れた」

カラオケ時代を先駆けた、ディレクター競作の粋

株式会社ミュージックグリッド 代表取締役社長 境 弘邦 (さかい・ひろくに) 氏
ヒット当時の役職：日本コロムビア株式会社・制作本部第一企画グループプロデューサー

❖ 営業から制作へ～ 初めての制作現場は別世界

長く営業に携わってきた私は、昭和53年に初めて、演歌の制作部門を任されました。私自身は歌も歌いませんし、楽器演奏もできません。制作の専門知識がない状態で、ディレクターを統括する立場になったわけです。入ってみると美空ひばりさん、島倉千代子さん、都はるみさん等々、きら星のごとく大スターがそろって輝かしさ。同じ会社でこんなに違う世界があるのかと驚きました。

当時の制作部門は、アーティストごとに専任ディレクターがつく担当制でした。売上やコストを意識するサラリーマンの社会とは異なり、アーティストとの二人三脚によるものづくりの世界です。いい面もあったのですが、弊害も目立ちました。その頃の演歌部門は、不振を極め、会社のなかでも日陰の存在です。それでもディレクターには特権意識が強く、競争心に欠け、業績を上げて会社に貢献しようという雰囲気はありませんでした。

❖ チームの知恵と経験を結集したい～ 波紋を呼んだ「ディレクター競作」導入

私とは言えば、営業出身で制作のイロハも知らない、と冷ややかな目を向けられ、リーダーながら皆を統率できない状況にありました。逆境を過ぎつつ考えた末、私は、ある結論に至りました。それが「ディレクター競作」の導入です。大スターはそろっているから、顔も名前も売る必要はない。でもスターたちが「今歌う歌」が知られていない。業績向上には「これから歌う歌」に集中して売ることが大事だ。皆の知恵と経験をその歌づくりに結集しよう。競争心を持って取り組んでもらいたい。そう考えて、今までの担当制を改めて、全員でひとりのアーティストの歌を作るディレクター競作の仕組みを提案したのです。抵抗の強いなか、粘り強い説得を繰り返しました。

「わかりました。やりましょう」ディレクターたちの納得を得て、まずは美空ひばりさんの作品から競作がスタートしたとき、皆が皆、まず電話に飛びつきました。いい作家を確保するためです。躍動するその姿を見て、私は「うまいくぞ」と手ごたえを感じました。

❖ 「聴く時代」から「歌う時代」の発想～ カラオケブームを見据え“誰もが歌える歌”を提示

7人のディレクターに2作ずつ、合計14作品作ってもらい、お客様の視線を意識して営業経験を踏まえて、私に審査を任せてもらいました。その頃、私は毎晩、酒場に飲みに出かけ、お客様の歌の楽しみ方を追いかけていました。カラオケが出始めの時期で、酒場を訪れる皆さんが、気持ちよさそうに歌う姿に強い印象を受けました。聴く時代から歌う時代になるぞ、と確信した私は、楽曲の選択では、「歌いやすさ」を物差しにしました。そして14曲のなかから、一番シンプルな「おまえに惚れた」を選んだのです。

ところが、どんな難曲も歌いこなすひばりさんには、簡単過ぎて歯ごたえがなかったのでしょうか。ワンコーラス聴くなり「これは私の歌じゃない」とまで言われ、剣もほろろに断られました。でも私は、簡単にあきらめられません。チームで取り組んだ初めての曲ですから。カラオケが流行り出した状況やディレクター全員で作上げた背景を熱心に説きました。納得してはいただけませんでしたが、何とかレコーディングにこぎつけ、最終的にひばりさんから発売を一任され、世に出る運びとなりました。

歌への納得は別として、ひばりさんはディレクター全員が携ったことに変感激され、食事会を催してくださいました。その席で私が、新曲を出すと販売店等を回ってキャンペーンをやりますと説明したことをきっかけに、「皆が私の歌を作ってくれたから、私もそのキャンペーンをやってみようかしら」とおっしゃいました。天下の美空ひばりがキャンペーンをやるというので、大変な話題になりました。特に、演歌の強い大阪などでは、朝から晩まで曲が流れる状況となって売れ始め、50万枚近くを売り上げました。

最初に美空ひばりさんという高いハードルを越えたことでディレクター競作は成功し、島倉千代子さんの「鳳仙花」、都はるみさんの「大阪しぐれ」などのヒットにつながりました。こうして俗に言う日本コロムビアの演歌黄金時代が築かれていったのです。ミリオンヒットは14本、売上は10倍になりました。皆の力を歌作りに結集すれば、結果は出る。「おまえに惚れた」がその端緒を開いたのです。(談)

作品データ

○美空ひばり「おまえに惚れた」 ○昭和55年(1980)発売 ○日本コロムビア
○作詞：たかたかし ○作曲：徳久広司

Monthly Production Report

2014年3月度レコード生産実績

3月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）生産実績は、数量で前年同月比89%の2,311万枚・巻、金額で同102%の294億円となった。内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比88%の1,691万枚・巻、金額で同105%の209億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比92%の620万枚・巻、金額で同94%の86億円となっている。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

			3月実績						2014年1月～2014年3月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
シ	8cmCD	邦	2	0	125%	1	0	111%	5	0	118%	3	0	119%
		洋	0	0	2%	0	0	-	0	0	1%	0	0	3%
		計	2	0	118%	1	0	111%	5	0	113%	3	0	116%
ン	12cmCD	邦	4,336	26	112%	3,673	18	118%	13,215	30	100%	10,082	20	108%
		洋	61	0	49%	38	0	40%	173	0	109%	69	0	61%
		計	4,396	26	110%	3,712	18	115%	13,388	30	100%	10,151	21	107%
ル	小計	邦	4,338	26	112%	3,674	18	118%	13,221	30	100%	10,085	20	108%
		洋	61	0	49%	38	0	40%	173	0	109%	69	0	61%
		計	4,398	26	110%	3,713	18	115%	13,393	30	100%	10,154	21	107%
12cmCD アルバム	邦	9,258	55	76%	14,377	69	104%	23,063	52	90%	32,274	65	106%	
	洋	3,087	18	111%	2,560	12	96%	7,567	17	106%	6,304	13	99%	
	計	12,345	73	82%	16,936	81	103%	30,630	69	93%	38,578	78	105%	
CD 合計	邦	13,595	80	85%	18,051	87	107%	36,283	82	93%	42,359	86	106%	
	洋	3,147	19	109%	2,598	12	94%	7,740	17	106%	6,373	13	99%	
	計	16,743	99	88%	20,649	99	105%	44,023	99	95%	48,732	99	105%	
アナログ ディスク	邦	11	0	300%	31	0	577%	26	0	75%	64	0	141%	
	洋	11	0	117%	16	0	109%	18	0	59%	26	0	51%	
	計	23	0	168%	47	0	232%	44	0	67%	90	0	94%	
カセット テープ	邦	106	1	69%	83	0	69%	296	1	73%	241	0	74%	
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	
	計	106	1	69%	83	0	69%	296	1	73%	241	0	74%	
その他	邦	22	0	278%	30	0	236%	75	0	273%	97	0	246%	
	洋	22	0	99%	56	0	163%	64	0	87%	139	0	99%	
	計	45	0	146%	86	0	183%	139	0	137%	236	0	131%	
合 計	邦	13,734	81	85%	18,195	87	107%	36,680	82	93%	42,761	87	106%	
	洋	3,181	19	109%	2,671	13	95%	7,823	18	106%	6,538	13	98%	
	計	16,916	100	88%	20,866	100	105%	44,503	100	95%	49,299	100	105%	

● 音楽ビデオ

			3月実績						2014年1月～2014年3月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
DVD	邦	5,179	84	89%	5,661	66	84%	11,566	83	86%	13,438	68	90%	
	洋	215	3	78%	286	3	100%	464	3	90%	560	3	93%	
	計	5,394	87	88%	5,947	69	85%	12,030	86	86%	13,998	71	90%	
Blu-ray Disc	邦	761	12	130%	2,502	29	126%	1,832	13	147%	5,619	28	127%	
	洋	40	1	83%	109	1	92%	51	0	65%	141	1	74%	
	計	801	13	126%	2,611	31	124%	1,882	14	142%	5,761	29	124%	
テープ・その他		0	0	8%	0	0	13%	0	0	30%	1	0	37%	
合 計	邦	5,940	96	92%	8,163	95	94%	13,398	96	91%	19,059	96	98%	
	洋	255	4	79%	395	5	98%	515	4	87%	701	4	89%	
	計	6,195	100	92%	8,558	100	94%	13,912	100	91%	19,760	100	98%	

● 音楽ソフト（オーディオ/音楽ビデオ合計）

			3月実績						2014年1月～2014年3月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
オーディオ			16,916	73	88%	20,866	71	105%	44,503	76	95%	49,299	71	105%
音楽ビデオ			6,195	27	92%	8,558	29	94%	13,912	24	91%	19,760	29	98%
合 計	邦		19,674	85	87%	26,358	90	102%	50,078	86	93%	61,820	90	104%
	洋		3,436	15	106%	3,066	10	95%	8,337	14	104%	7,239	10	97%
	計		23,111	100	89%	29,424	100	102%	58,415	100	94%	69,059	100	103%

● ビデオ（含音楽ビデオ）

			3月実績						2014年1月～2014年3月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
DVD			9,348	79	95%	14,475	70	101%	21,074	78	91%	33,094	68	99%
テープ・その他			2,552	21	117%	6,310	30	89%	5,855	22	111%	15,382	32	93%
合 計			11,900	100	99%	20,785	100	97%	26,929	100	94%	48,477	100	97%

● オーディオ/ビデオ合計

			3月実績						2014年1月～2014年3月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
オーディオ			16,916	59	88%	20,866	50	105%	44,503	62	95%	49,299	50	105%
ビデオ			11,900	41	99%	20,785	50	97%	26,929	38	94%	48,477	50	97%
合 計			28,816	100	92%	41,651	100	101%	71,431	100	95%	97,776	100	101%

備考 1.本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む
2.単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある
※オーディオレコードのその他は SACD、DVD オーディオ、DVD ミュージック、MD の合計

音楽ソフト

邦楽

アルバム

● プラチナ

Music	EXILE ATSUSHI	2014.03.12	AMI
HIT! HIT! HIT!	Kis-My-Ft2	2014.03.26	AMI
TREE	東方神起	2014.03.05	AMI
RAY	BUMP OF CHICKEN	2014.03.12	VAP
Summer Ballad Covers	May J.	2013.06.19	AMI
新世界	ゆず	2014.02.19	VAP

● ゴールド

COLORFUL POP	E-girls	2014.03.19	AMI
映画「カノジョは嘘を愛しすぎて」～MUSIC BOX～	Various Artists	2013.12.18	V
DOOR	JUJU	2014.03.05	SME
Tales of Purefly	MAN WITH A MISSION	2014.03.12	SR

シングル

● ダブル・プラチナ

未来とは?	SKE48	2014.03.19	AMI
高嶺の林檎	NMB48	2014.03.26	YRC

● プラチナ

桜、みんなで食べた	HKT48	2014.03.12	UM
光のシグナル	Kis-My-Ft2	2014.03.05	AMI

● ゴールド

S.A.K.U.R.A.	三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE	2014.03.26	AMI
--------------	--------------------------------------	------------	-----

ビデオ

● ゴールド

EXILE LIVE TOUR 2013 "EXILE PRIDE" 9.27 FINAL	EXILE	2014.03.31	AMI
---	-------	------------	-----

洋楽

アルバム

● ゴールド

アナと雪の女王 オリジナル・サウンドトラック	V.A.	2014.03.12	AMI
------------------------	------	------------	-----

※日付は発売日

認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®、着うたフル®、パソコンダウンロードシングル・アルバム)共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上
以降、100万ごとに賞を設定		

基準単位: 音楽ソフト・枚、配信・DL(ダウンロード)

※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※ **AMI**: エイベックス・マーケティング/**BG**: ビーグラムスレコーズ/**BM**: パーミリオンレコード/**SME**: ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/**SR**: ソニー・ミュージックレコーズ/**TF**: トイズファクトリー/**UM**: ユニバーサルミュージック/**V**: ビクターエンタテインメント/**VAP**: ヲビ子/**YRC**: よしもとアール・アンド・シー

有料音楽配信

2014年1月度からの認定区分変更に伴い、当月は29作品を認定。

本号では、3ミリオン、ダブル・プラチナ、プラチナ認定の10作品のみを掲載。その他19作品の詳細は当協会HP(<http://www.riaj.or.jp/data/others/chart/w140418.html>)を参照のこと。

「シングルトラック」

邦楽

● 3ミリオン

そばにいるね	青山テルマ feat.SoulJa	2008.01.23	UM
--------	-------------------	------------	----

● ダブル・プラチナ

さくら(独唱)	森山直太朗	2005.06.01	UM
TSUBOMI feat. 九州男	lecca	2010.04.28	AMI

● プラチナ

ウィーゴー!	きただにひろし	2011.11.16	AMI
負けないで	ZARD	2005.01.13	BG
恋音と雨空	AAA	2013.08.28	AMI
ultra soul	B'z	2005.01.13	BM
OCEAN	B'z	2005.08.17	BM
LOVE PHANTOM	B'z	2005.01.13	BM
春風	Rihwa	2014.02.05	TF

※日付は配信開始日

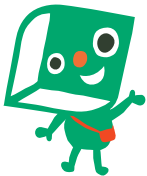
協会からのお知らせ

日本のレコード産業英語版 「RIAJ YEARBOOK 2014」を発行

当協会では、「日本のレコード産業2014」の英語版である「RIAJ YEARBOOK 2014」を発行いたしました。本誌は、2013年のレコード産業の概要を網羅したA4判28頁の小冊子で、日本語版と同様の内容で、レコードの生産実績、有料音楽配信売上、新譜・カタログ数、ミリオン認定、世界売上などを幅広く掲載しています。なお、本誌PDF版については、下記当協会ホームページをご覧ください。



<http://www.riaj.or.jp/issue/industry/>



エルマーキャラクター
エルマーくん

THE RECORD No.654 2014年5月号
一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 斉藤 正明
編集人 田口 幸太郎
発行日 2014年5月10日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9F
TEL. 03-5575-1301 (代) FAX. 03-5575-1313
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

この度のオバマ大統領の来日に伴い、米国大使館のお向かいである協会周辺は、未だかつてないほど厳戒の警備体制が敷かれました。ピリピリした雰囲気、警備とは裏腹に、星条旗カラーに彩られた東京タワーや、目の前を駆け抜けていく公用車を写真に収め、野次馬を楽しんでいましたが……。

ところで、今回の来日でも大きな焦点となったTPP交渉。農産物の関税に関する話題が報道の中心ですが、知財分野の動向も気になるところです。著作権保護期間や海賊版の取り締まり強化など、日本の著作権にどんな影響を与えるのか、交渉の行方に引き続き注目していきたいです。(M)

■ 当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら、当協会公式サイト (<http://www.riaj.or.jp/>) のお問い合わせページよりお寄せください。